

# 参 考 资 料



# 2020年東京オリ・パラ大会への国民の期待

2016年リオ大会において日本人選手が活躍を見せる中、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における**日本人選手の活躍、競技力の向上などに対する国民の期待は高い。**

「期待する」の回答結果（上位5項目）

**日本選手の活躍が見られること**

76.9%

**日本の良さをわかってもらう**

73%

**日本を好きになってもらう**

70.9%

**スポーツ選手の競技力が向上する**

70.7%

**世界レベルの対戦や究極の  
チャレンジが見られる**

70.1%

※質問「あなたは2020年の東京五輪・パラリンピックでどのようなことを期待していますか？項目ごとにあなたのお気持ちに近いものをお答えください。」への回答結果

※「期待する」の数値は質問項目の「期待する」と「やや期待する」の合計値

（調査元）株式会社共同通信社、（調査期間）平成28年8月12日～15日、（調査対象・方法）全国10～60代の男女1,100人にインターネットで実施

## 夏季オリンピック開催国の金メダルランキングの推移

開催国	2大会前	1大会前	自国開催大会
オーストラリア	10位 金 7	7位 金 9	4位 金 16
ギリシャ	16位 金 4	17位 金 4	15位 金 6
中国	3位 金 28	2位 金 32	1位 金 51
英国	10位 金 9	4位 金 19	3位 金 29
ブラジル	23位 金 3	22位 金 3	13位 金 7
日本	11位 金 7	6位 金 12	
(参考) 東京(1964年大会)	10位 金 4	8位 金 4	3位 金 16
(参考)冬季 長野(1998年大会)	11位 金 1	11位 金 1	7位 金 5

# 【オリンピック】2012 ロンドン大会と2016 リオ大会の日本メダル獲得競技比較

メダル区分	2012ロンドン大会	2016リオ大会
金	7 (11位) レスリング(4) 柔道(1) 体操(1) ボクシング(1)	12 (6位) レスリング(4) 柔道(3) 水泳/競泳(2) 体操(2) バドミントン(1)
銀	14 柔道(3) 水泳/競泳(3) 体操(2) ウエイトリフティング(1) 卓球(1)	8 レスリング(3) 水泳/競泳(2) 柔道(1) 卓球(1) 陸上(1)
銅	17 水泳/競泳(8) 柔道(3) レスリング(2) 陸上(1) アーチェリー(1)	21 柔道(8) 水泳/競泳(3) 卓球(2) 水泳/シンクロ(2) ウエイトリフティング(1) 体操(1) バドミントン(1) 陸上(1) カヌー(1) テニス(1)
メダル獲得競技	13競技	10競技
計	38 (6位)	41 (7位)

※赤字：2012 ロンドン大会と比較し、2016 リオ大会でメダルを獲得できなかった競技。

※青字：2012 ロンドン大会と比較し、2016 リオ大会で新たにメダルを獲得した競技。

# 2016リオ大会 国別メダル獲得競技(オリンピック)

競技数	国名	金メダル獲得競技	金メダル数	メダル獲得競技(総メダル)	総メダル数
14 (18)	イギリス	自転車、ボート、陸上競技、水泳、体操、セーリング 馬術、カヌー、テニス、ホッケー、ボクシング トライアスロン、ゴルフ、テコンドー	27	自転車、水泳、陸上競技、体操、ボート、カヌー、ボクシング セーリング、馬術、テコンドー、トライアスロン、射撃、バドミントン ラグビー、ゴルフ、柔道、ホッケー、テニス	67
12 (20)	アメリカ	水泳、陸上競技、ボクシング、体操、バスケットボール レスリング、自転車、柔道、射撃、トライアスロン テニス、ボート	46	水泳、陸上競技、体操、自転車、フェンシング、バレーボール、馬術 テニス、射撃、ボクシング、レスリング、柔道、ボート、アーチェリー ゴルフ、テコンドー、バスケットボール、トライアスロン、セーリング ウエイトリフティング	121
9 (19)	ドイツ	カヌー、射撃、陸上競技、ボート、馬術、バレーボール 体操、自転車、サッカー	17	カヌー、馬術、射撃、陸上競技、ボート、ホッケー、卓球、サッカー 体操、自転車、レスリング、セーリング、柔道、アーチェリー ハンドボール、バレーボール、水泳、テニス、ボクシング	42
9 (17)	中国	水泳、ウエイトリフティング、卓球、陸上競技、バド ミントン、テコンドー、自転車、射撃、バレーボール	26	水泳、射撃、ウエイトリフティング、卓球、陸上競技、体操、ボクシング バドミントン、ボート、テコンドー、レスリング、フェンシング、柔道 ゴルフ、セーリング、バレーボール、自転車	70
9 (15)	ロシア	レスリング、フェンシング、体操、水泳、柔道、テニス ボクシング、近代五種、ハンドボール	19	体操、レスリング、水泳、フェンシング、ボクシング、射撃、柔道 自転車、アーチェリー、カヌー、テコンドー、テニス、セーリング 近代五種、ハンドボール	56
7 (15)	フランス	ボクシング、馬術、柔道、カヌー、ボート、フェンシング セーリング	10	陸上競技、水泳、自転車、射撃、近代五種、アーチェリー、テコンドー ハンドボール、ボート、ボクシング、セーリング、馬術、フェンシング 柔道、カヌー	42
6 (11)	オーストラリア	水泳、ボート、セーリング、射撃、近代五種、ラグビー	8	水泳、陸上競技、自転車、馬術、カヌー、アーチェリー、ボート セーリング、射撃、近代五種、ラグビー	29
5 (10)	日本	レスリング、柔道、水泳、体操、バドミントン	12	柔道、水泳、レスリング、体操、卓球、陸上競技、バドミントン、テニス ウエイトリフティング、カヌー	41
5 (9)	韓国	アーチェリー、テコンドー、フェンシング、射撃、ゴルフ	9	アーチェリー、テコンドー、柔道、フェンシング、射撃、ゴルフ、 レスリング、ウエイトリフティング、バドミントン	21
5 (9)	イタリア	射撃、水泳、柔道、自転車、フェンシング	8	水泳、射撃、フェンシング、ボート、バレーボール、自転車、柔道 レスリング	28
3 (4)	ハンガリー	水泳、カヌー、フェンシング	8	水泳、フェンシング、カヌー、陸上競技	15

※日本スポーツ振興センター提供データより作成。  
 ※競技(下線付き)は、日本の金メダル獲得競技、総メダル獲得競技。  
 ※競技数は金メダル獲得競技数、( )内の数は総メダル獲得競技数。

# 3大会連続メダル獲得競技(オリンピック) ～北京・ロンドン・リオ～

競技数	国名	3大会連続金メダル獲得競技	金メダル数	3大会連続メダル獲得競技(総メダル)	総メダル数
9 (14)	アメリカ	水泳、陸上競技、体操、バスケットボール 射撃、テニス、レスリング、ボート、自転車	114	水泳、陸上競技、体操、自転車、射撃、フェンシング バレーボール、レスリング、テニス、ボート、テコンドー バスケットボール、ボクシング、柔道	315
6 (15)	中国	水泳、ウエイトリフティング、卓球、バドミントン 射撃、テコンドー	79	水泳、体操、ウエイトリフティング、射撃、卓球、バドミントン 陸上競技、ボクシング、柔道、テコンドー、フェンシング レスリング、自転車、ボート、セーリング	247
6 (10)	イギリス	自転車、ボート、陸上競技、セーリング ボクシング、カヌー	55	自転車、ボート、水泳、陸上競技、セーリング、体操、ボクシング カヌー、馬術、テコンドー	160
4 (9)	ロシア	レスリング、水泳、体操、ボクシング	34	レスリング、体操、水泳、ボクシング、フェンシング 射撃、自転車、カヌー、テニス	139
3 (10)	ドイツ	カヌー、馬術、自転車	20	カヌー、馬術、陸上競技、自転車、ボート、体操、水泳、柔道 卓球、ホッケー	98
3 (7)	韓国	アーチェリー、テコンドー、射撃	21	アーチェリー、テコンドー、柔道、フェンシング、射撃 バドミントン、レスリング	61
2 (6)	オーストラリア	水泳、セーリング	17	水泳、ボート、セーリング、自転車、陸上競技、カヌー	95
2 (6)	イタリア	フェンシング、射撃	13	フェンシング、射撃、水泳、柔道、ボート、自転車	57
2 (5)	日本	レスリング、柔道	18	柔道、水泳、レスリング、体操、陸上競技	83
2 (3)	ハンガリー	カヌー、水泳	14	水泳、カヌー、フェンシング	33
0 (10)	フランス		0	柔道、水泳、陸上競技、自転車、カヌー、セーリング ボート、射撃、テコンドー、ハンドボール	86

※日本スポーツ振興センター提供データより作成。  
 ※競技(下線付き)は、日本の金メダル獲得競技、総メダル獲得競技。  
 ※競技数は金メダル獲得競技数、( )内の数は総メダル獲得競技数。

## 夏季パラリンピック開催国の金メダルランキングの推移

開催国	2大会前	1大会前	自国開催大会
オーストラリア	7位 金24	2位 金42	1位 金63
ギリシャ	46位 金1	33位 金4	34位 金3
中国	6位 金34	1位 金63	1位 金89
英国	2位 金35	2位 金42	3位 金34
ブラジル	9位 金16	7位 金21	<b>8位 金14</b>
日本	24位 金5	<b>64位 金0</b>	—
(参考) 東京(1964年大会)	—	参加なし	13位 金1
(参考)冬季 長野(1998年大会)	19位 金0	18位 金0	4位 金12

# 【パラリンピック】2012 ロンドン大会と2016 リオ大会の日本メダル獲得競技比較

メダル区分	2012ロンドン大会	2016リオ大会
金	5 (24位) ゴールボール(1) 柔道(1) 水泳(2) 車いすテニス(1)	0 (64位)
銀	5 陸上競技(3) 水泳(2)	10 陸上競技(4) 自転車(2) 水泳(2) 柔道(1) ボッチャ(1)
銅	6 水泳(4) 陸上競技(1) 自転車(1)	14 水泳(5) 柔道(3) 陸上競技(3) 車いすテニス(2) ウィルチェアラグビー(1)
メダル獲得競技	6競技	7競技
計	16 (23位)	24 (16位)

※赤字：2012 ロンドン大会と比較し、2016 リオ大会でメダルを獲得できなかった競技。

※青字：2012 ロンドン大会と比較し、2016 リオ大会で新たにメダルを獲得した競技。

# 2016リオ大会 国別メダル獲得競技(パラリンピック)

競技数	国名	金メダル獲得競技	金メダル数	メダル獲得競技(総メダル)	総メダル数
11 (15)	イギリス	水泳、陸上競技、自転車、馬術、アーチェリー、カヌー、ボート、卓球、ボッチャ、トライアスロン、車いすテニス	64	水泳、陸上競技、自転車、馬術、アーチェリー、カヌー、ボート、トライアスロン、卓球、パワーリフティング、セーリング、ボッチャ、車いすフェンシング、車椅子バスケットボール	147
11 (11)	ウクライナ	水泳、陸上競技、自転車、卓球、車いすフェンシング、カヌー、7人制サッカー、柔道、パワーリフティング、ボート、射撃	41	水泳、陸上競技、柔道、車いすフェンシング、射撃、卓球、自転車、カヌー、7人制サッカー、パワーリフティング、ボート	117
9 (13)	中国	水泳、陸上競技、卓球、車いすフェンシング、射撃、自転車、アーチェリー、パワーリフティング、柔道	107	水泳、陸上競技、卓球、車いすフェンシング、パワーリフティング、自転車、射撃、アーチェリー、柔道、ボート、ボッチャ、ゴールボール、シッティングバレーボール	239
8 (11)	オーストラリア	水泳、陸上競技、自転車、セーリング、車いすテニス、トライアスロン、カヌー、ウィルチェアラーラグビー	22	水泳、陸上競技、自転車、セーリング、カヌー、車いすテニス、アーチェリー、ボート、卓球、トライアスロン、ウィルチェアラーラグビー	81
7 (14)	アメリカ	陸上競技、水泳、自転車、トライアスロン、車椅子バスケットボール、アーチェリー、シッティングバレーボール	40	陸上競技、水泳、自転車、トライアスロン、ゴールボール、柔道、車椅子バスケットボール、車いすテニス、アーチェリー、ボート、セーリング、射撃、シッティングバレーボール、ウィルチェアラーラグビー	115
7 (10)	オランダ	自転車、水泳、陸上競技、車いすテニス、馬術、卓球、トライアスロン	17	水泳、自転車、陸上競技、馬術、車いすテニス、卓球、トライアスロン、パワーリフティング、車椅子バスケットボール、ボッチャ	62
6 (12)	フランス	陸上競技、卓球、柔道、セーリング、車いすフェンシング、車いすテニス	9	陸上競技、卓球、水泳、車いすフェンシング、カヌー、自転車、柔道、ボート、セーリング、トライアスロン、車いすテニス、パワーリフティング	28
4 (13)	ブラジル	陸上競技、水泳、ボッチャ、5人制サッカー	14	陸上競技、水泳、柔道、卓球、ボッチャ、自転車、馬術、カヌー、5人制サッカー、7人制サッカー、ゴールボール、パワーリフティング、シッティングバレーボール	72
4 (8)	韓国	水泳、ボッチャ、柔道、卓球	7	卓球、射撃、水泳、柔道、アーチェリー、陸上競技、ボッチャ、自転車	35
3 (10)	ドイツ	陸上競技、自転車、トライアスロン	18	陸上競技、自転車、卓球、柔道、水泳、カヌー、馬術、射撃、トライアスロン、車椅子バスケットボール	57
0 (7)	日本		0	陸上競技、水泳、柔道、自転車、車いすテニス、ボッチャ、ウィルチェアラーラグビー	24

※日本スポーツ振興センター提供データより作成。  
 ※日本と、金メダル獲得競技数の上位10か国を比較。  
 ※競技(下線付き)は、日本の金メダル獲得競技、総メダル獲得競技。  
 ※競技数は金メダル獲得競技数、( )内の数は総メダル獲得競技数。

# 3大会連続メダル獲得競技(パラリンピック) ～北京・ロンドン・リオ～

競技数	国名	3大会連続金メダル獲得競技	金メダル数	3大会連続メダル獲得競技(総メダル)	総メダル数
8 (12)	中国	陸上競技、水泳、卓球、車いすフェンシング、パワーリフティング、射撃、アーチェリー	276	陸上競技、水泳、卓球、パワーリフティング、車いすフェンシング、自転車、射撃、アーチェリー、柔道、ボート、ゴールボール、シッティングバレーボール	676
6 (8)	イギリス	自転車、水泳、陸上競技、馬術、アーチェリー、ボート	128	水泳、陸上競技、自転車、馬術、アーチェリー、車いすテニス、ボート、ポッチャ	336
4 (5)	ブラジル	水泳、陸上競技、ポッチャ、5人制サッカー	49	陸上競技、水泳、柔道、ポッチャ、5人制サッカー	143
3 (11)	アメリカ	水泳、陸上競技、自転車	94	水泳、陸上競技、自転車、車いすテニス、柔道、アーチェリー、ボート、セーリング、車椅子バスケットボール、シッティングバレーボール、ウィルチェアラグビー	304
3 (6)	オーストラリア	水泳、陸上競技、自転車	66	水泳、陸上競技、自転車、セーリング、ボート、ウィルチェアラグビー	228
3 (5)	ポーランド	陸上競技、卓球、自転車	22	陸上競技、卓球、水泳、自転車、車いすフェンシング	98
3 (5)	オランダ	水泳、車いすテニス、陸上競技	21	水泳、自転車、陸上競技、車いすテニス、卓球	104
2 (8)	ドイツ	陸上競技、自転車	34	陸上競技、自転車、水泳、馬術、卓球、柔道、射撃、車椅子バスケットボール	173
2 (7)	ウクライナ	水泳、陸上競技	76	水泳、陸上競技、柔道、車いすフェンシング、ボート、7人制サッカー、パワーリフティング	257
2 (6)	韓国	ポッチャ、卓球	7	卓球、射撃、陸上競技、水泳、アーチェリー、ポッチャ	83
0 (5)	日本		0	陸上競技、水泳、自転車、柔道、車いすテニス	63

※日本スポーツ振興センター提供データより作成。  
 ※日本と、金メダル獲得競技数の上位10か国を比較。  
 ※競技(下線付き)は、日本の金メダル獲得競技、総メダル獲得競技。  
 ※競技数は金メダル獲得競技数、( )内の数は総メダル獲得競技数。

# ハイパフォーマンスセンターの基盤整備

(新 規)  
29年度概算要求額：1,768,092千円

- 「ハイパフォーマンスセンター」の機能強化を図るため、以下の3センターを新たに設置し、我が国の国際競技力が中長期的に成長していくための基盤を整備する。

**JAPAN SPORT COUNCIL**

## ハイパフォーマンスセンター (Japan High Performance Sport Center)



国立スポーツ科学センター  
(JISS)

## スポーツ・インテリジェンスセンター (仮称)

**国際性**  
(スポーツ・インテリジェンス戦略)

- 多様化・複雑化するハイパフォーマンスに関する情報の世界的な競争の中で、各国のメダル獲得戦略、選手強化方法などのあらゆる情報を先行して収集し、研究・分析結果を競技団体の強化戦略プラン等に反映して用意周到な準備を行い、大会本番でのパフォーマンスの最大化を図る。



ナショナルトレーニングセンター  
(NTC)

## アスリート・データセンター (仮称)

**卓越性**  
(情報一元化戦略)

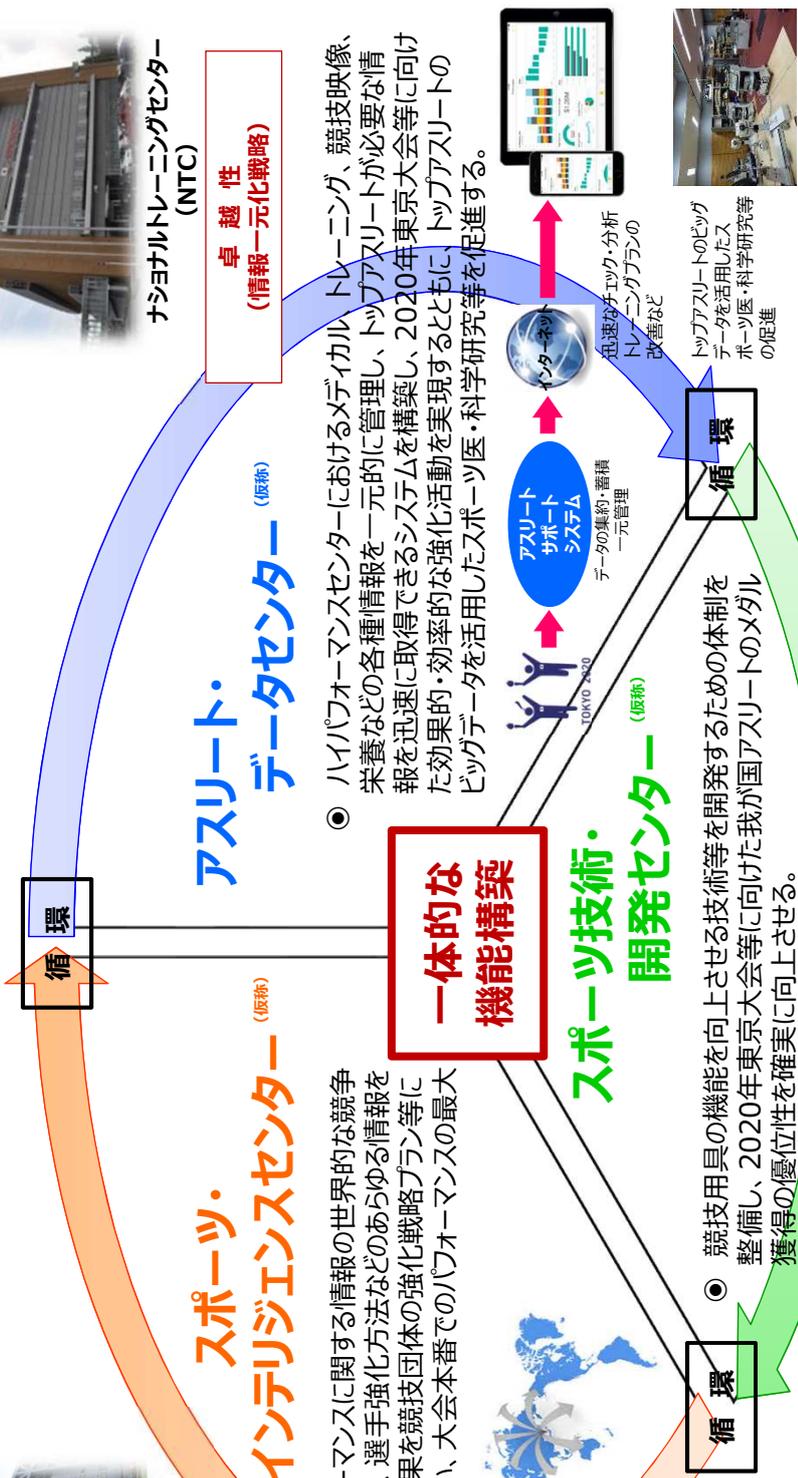
- ハイパフォーマンスセンターにおけるメディカル、トレーニング、競技映像、栄養などの各種情報を一元的に管理し、トップアスリートが必要な情報を迅速に取得できるシステムを構築し、2020年東京大会等に向けた効果的・効率的な強化活動を実現するとともに、トップアスリートのビッグデータを活用したスポーツ医・科学研究等を促進する。

**一体的な機能構築**

## スポーツ技術・開発センター (仮称)

- 競技用具の機能を向上させる技術等を開発するための体制を整備し、2020年東京大会等に向けた我が国アスリートのメダル獲得の優位性を確実に向上させる。

**持続性・連携性**  
(テクノロジー戦略)



# ナショナルトレーニングセンターの拡充整備

(前年度予算額 199,802千円)  
 28年度補正予算額 (案) 2,405,848千円  
 29年度概算要求額 3,660,231千円

## 【概要】

トップアスリートが、同一の活動拠点で集中的・継続的にトレーニング・強化活動を行うため、パラリンピック競技の使用を想定したナショナルトレーニングセンター（NTC）を整備し、オリンピック競技とパラリンピック競技の共同利用化を図る。

◆ 2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（平成27年11月27日 閣議決定）

④メダル獲得へ向けた競技力の強化

公益財団法人日本オリンピック委員会及び公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会の設定したメダル獲得目標を踏まえつつ、日本人アスリートが、大会において最高のパフォーマンスを発揮し、過去最高の金メダル数を獲得するなど優秀な成績を収めることができるよう、トップアスリート及び次世代アスリートの育成・支援のための**戦略的な選手強化**、競技役員など国際的に活躍できる人材の育成、スポーツ医・科学、情報分野の多面的かつ高度な支援体制の構築に努めるとともに、**オリンピック競技とパラリンピック競技の一体的な拠点構築を進める**。特に、パラリンピック競技については、基盤の強化をはじめ、大会の成功に向けた重層的な支援を講ずる。

## ◆ 計画予定地

東京都北区西が丘3丁目1442-21、22

- 建設工事完成時期 平成31年度当初を目標
- 工事費 約220億円（概算見込額）

## ◆ 拡充施設の概要

階数	建築面積	延床面積	建物高さ
地下1階、地上6階	約10,000㎡	約29,400㎡	30.5m
共用体育館			
【オリンピック競技】			
バスケットボール、バレーボール、バドミントン、テニス			
【パラリンピック競技】			
車椅子バスケットボール、シットイングバレーボール、バドミントン、テニス、ボッチャ、ゴールボール、パワーリフティング、ウィルチエアロビクス			
水泳（競泳）トレーニング施設			
卓球トレーニング施設			
射撃トレーニング施設			
フェンシングトレーニング施設			
アーチェリートレーニング施設			
宿泊施設			
食堂			

## ◆ 整備年次計画



## ◆ 拡充施設の完成イメージ図



# トップアスリートの発掘支援（日体協等の参画） <イメージ>

## 事業内容

(公財) 日本体育協会のもつ全国ネットワークを活用し、「県体育協会」が中核となり「県教育委員会」「地域スポーツクラブ」「障害者スポーツ協会」「高体連」「中体連」「高野連」「JOC」「JPC」などの関係機関等と連携を図り、アスリートの発掘・育成に取り組む。

## 実施体制

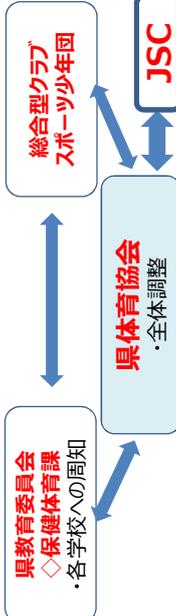
(独) 日本スポーツ振興センター

(公財) 日本体育協会

### 種目適性型発掘・育成事業

□主な連携団体：NF、県教委、県体協 ※小・中学生対象

□タレント発掘・育成事業未実施の県において、「未知の人材」から「大きな飛躍の可能性を秘めた人材」を発掘・育成



体力測定

第1ステージ (発掘)  
対象：小学校4年生～6年生  
内容：多様なスポーツに触れる機会を通して、高い適性を有する子どもを早期に発掘

第2ステージ (育成)  
対象：中学校1年生～3年生  
内容：中央競技団体による「オーデション」等を通じて個人の適性に応じた競技種目を選択させ、専門的トレーニングを実施

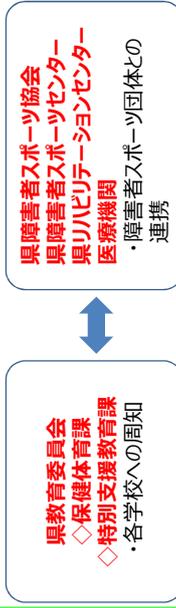
NF

JOC

### 障害者アスリート発掘・育成事業

□主な連携団体：NF、県教委、県体協、県障協、JPC

□県体協、県障協、県教委、JPC、NFが連携し、障害者アスリートの発掘・育成事業を実施する。



※体力測定

障害者アスリート発掘・育成事業

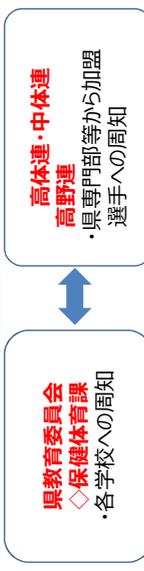
NF

JPC

### 種目最適型発掘事業

□主な連携団体：NF、県教委、県体協、高体連、中体連、高野連、JOC ※中・高校生対象

□県体協、高体連・中体連、高野連、県教委、JOC、NFが連携し、県内の中学生、高校生に対して、合同トライアルを実施し、競技団体の育成プログラムへとつなげる機会を創出する。



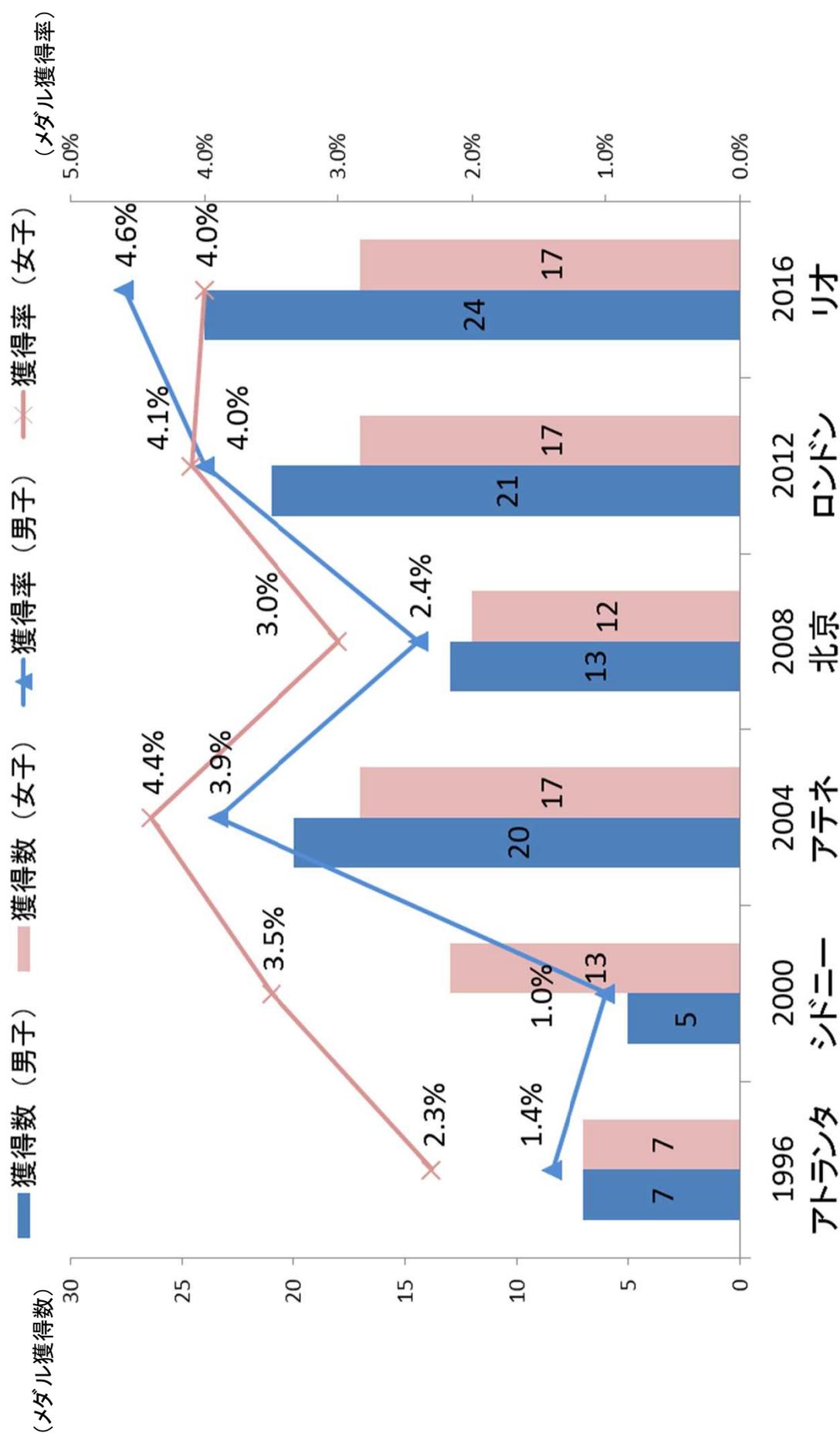
JSC

合同トライアル

NF

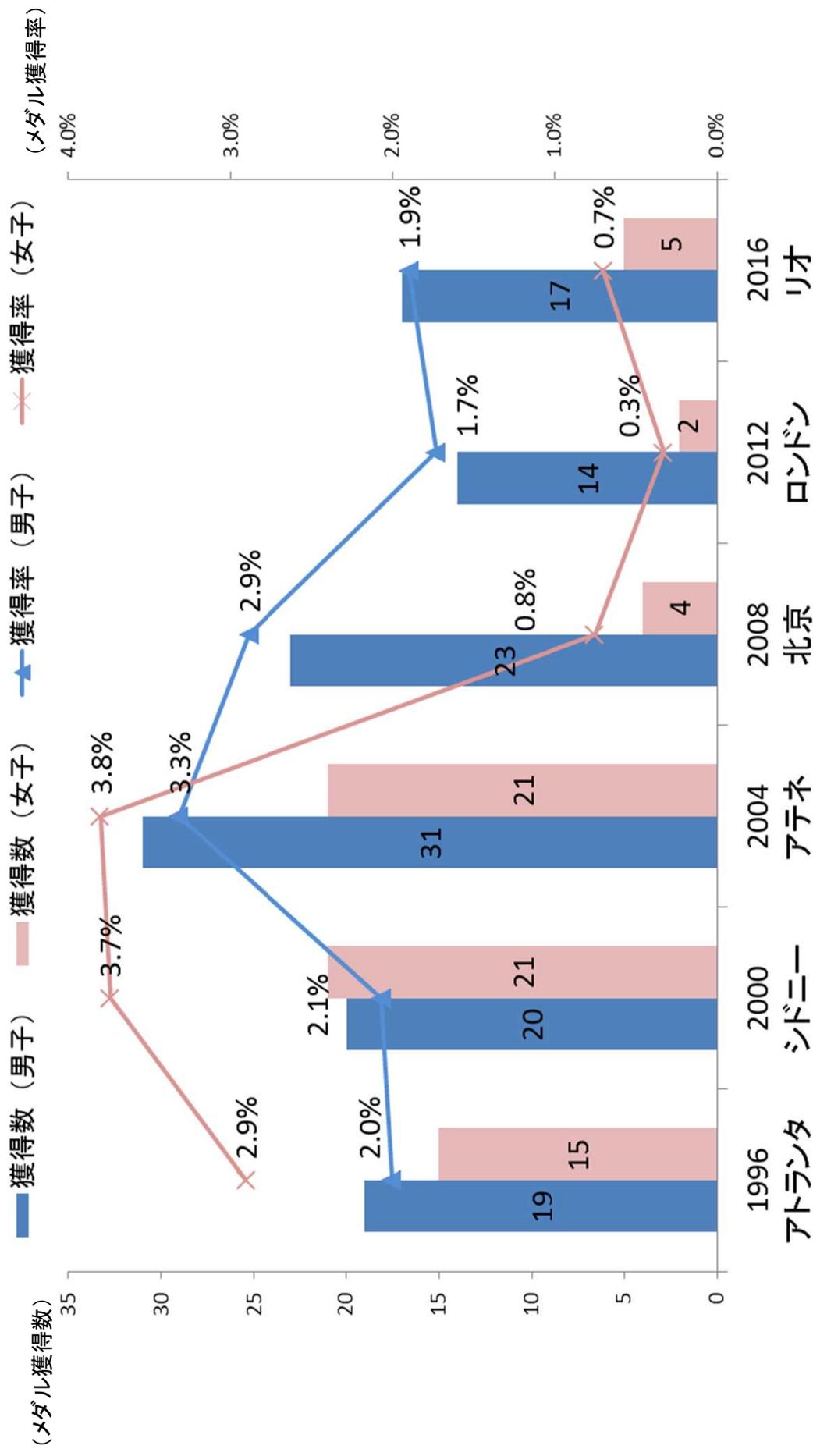
JOC

# 夏季オリンピックにおける女性アスリートのメダル獲得数・獲得率 (1996アトランタ大会～2016リオ大会)



※日本オリンピック委員会ホームページ及び日本スポーツ振興センター提供データより作成。  
※男女混合種目は除く。

# 夏季パラリンピックにおける女性アスリートのメダル獲得数・獲得率 (1996アトランタ大会～2016リオ大会)



※日本パラリンピック委員会ホームページ及び日本スポーツ振興センター提供データより作成。  
※男女混合種目は除く。

